

令和6年度「水道局の広報に関するアンケート」 集計結果の活用状況

アンケートテーマの担当部署が、アンケート結果をどのように受け止めたのか、事業にどのように活用しているのかなど、集計結果の活用状況をご紹介します。

1 アンケート結果の事業等への活用状況

Q3「水道について、知りたいと思う項目はどれですか。」の質問に対して、「水質 74.2%」、「水源 51.9%」、「災害対策 50.2%」の順に回答数が多い結果となり、昨年度の調査と同様に、ニーズが高い項目であることが改めて分かりました。水道事業をより多くのお客さまに知っていただけるよう、広報活動を検討する際の参考にさせていただきます。

2 アンケートを実施した感想

Q6「知りたいと思う項目をお知らせする場合、どのような広報手段が良いですか」の質問に対して、「広報よこはま 82.8%」、「検針票 43.6%」、「市ウェブサイト 38.6%」、「LINE [横浜市公式アカウントによるLINE] 26.2%」の順に回答数が多い結果となりました。紙媒体へのニーズが依然として高いものの、昨年度の調査と比較して、ウェブサイトでの情報発信に対するニーズも高まっていることが分かりました。媒体の特性を生かしながら、様々な方法で情報発信を連携させるなど、今後の広報活動を進める際の参考にさせていただきます。

3 担当部署のeアンケートメンバーへのメッセージ

このたびは、アンケートにご協力いただきありがとうございました。

水道局の広報活動に関する率直なご意見をいただくことができ、大変参考になりました。

安全で良質な水道水を将来にわたり安定してお届けするためには、水道料金をお支払いいただく皆様のご理解が欠かせません。アンケート結果を参考に、効果的な広報手段を意識して、引き続き広報活動を進めていきます。

担当：水道局広報課

ヨコハマ e アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。